

た ま き

No.5



社 協
シンボルマーク

社協だより

98・8月

編集：発行 社会福祉法人 玉城町社会福祉協議会
〒519-0433
玉城町勝田4876-1 TEL 0596(58)6915 FAX 0596(58)6916



ことぶき人材センター 作業のようす

平成10年度 社会福祉協議会予算

平成9年度第3回玉城町社会福祉協議会理事会・評議員会は平成10年3月13日に町保健福祉会館で開かれました。平成10年度玉城町社会福祉協議会事業計画や一般会計予算をはじめ、各特別会計予算等が審議され、次のとおり承認されました。

平成10年度玉城町社会福祉協議会事業計画事業方針

21世紀の到来に合わせて公的介護保険制度の発足が決定し、いよいよゴールドプランの「保健」と「福祉」が一体となって高齢者介護を支えようという考え方が実現しようとしています。当社協においても、平成9年6月の町保健福祉会館オープンに合わせてデイサービス事業を開始し、ホームヘルパーを増員するなど、サービス提供機関としての基盤作りを進めてまいりました。平成10年度においては、従事者の資質向上や利用者ニーズの把握、保健・福祉サービス提供機関相互の情報提供など、ソフト面をより充実して利用者のニーズを満たし、きめ細かいサービス供給の実現に努力してまいります。このような情勢の中にあつて、公的介護保険制度の対象外になる障害者福祉など、その他の社会福祉制度との間に制度間格差が生じないよう行政機関、関係団体との連携を保ちながら、ボランティア団体、福祉団体、福祉協力校等の協力を得て、

総合的な福祉事業の充実に向けて事業を展開してまいります。

1. 各種福祉事業

1. 老人・身体障害者デイサービス事業の運営
2. 寝たきり・独居の高齢者、心身障害者への訪問介護
3. 福祉バスの運行
4. 小規模授産施設（夢工房たまたま）の運営
5. 独居老人への給食サービス及び会食会の開催
6. 知的障害児（者）の生活交流会の開催
7. はっぴいサークルの開催
8. 老人福祉施設、身体障害者福祉施設の歳末慰問
9. 会員制度の啓発推進、会員確保
10. 社協だよりの発行
11. ことぶき人材センターの運営と組織強化

2. 援護事業

1. 生活福祉資金の貸し付け業務
2. 世帯更生資金の貸し付け

3. 各種募金活動の推進

- 日赤募金 5月
- 共同募金 10月
- 歳末たすけあい募金 12月

4. 心配ごと相談所の開設
毎月1日・15日 町保健福祉会館 相談室

5. その他

1. 民生児童委員協議会との連絡、調整
2. ボランティアの育成とボランティア団体の相互連絡、指導

3. 各福祉団体、福祉協力校の育成、指導
 4. 上部団体、各種協議会で開催される事業への積極的な参加・協力
- その他、社会福祉の向上に必要な事業の実施



平成10年度玉城町社会福祉協議会一般会計予算

単位：円

収入		支出	
財産収入	10,000	法人運営費	187,000
会費収入	750,000	事務費	10,068,000
寄付金収入	800,000	事業費	12,305,000
共同募金配分金収入	1,161,000	募金配分金事業費	357,000
補助金収入	13,224,000	受託事業費	77,061,000
助成金収入	1,733,000	負担金支出	624,000
受託金収入	77,161,000	繰出金	1,423,000
事業収入	7,380,000	予備費	305,000
繰入金収入	1,000		
雑収入	10,000		
繰越金収入	100,000		
収入合計	102,330,000	支出合計	102,330,000

平成10年度玉城町社会福祉協議会心配ごと相談特別会計予算

単位：円

収 入		支 出	
繰入金	350,000	運営費	361,000
繰越金	20,000	予備費	10,000
雑収入	1,000		
収入合計	371,000	支出合計	371,000



平成10年度玉城町社会福祉協議会ことぶき人材センター特別会計予算

単位：円

収 入		支 出	
手数料収入	1,000,000	運営費	1,536,000
繰入金	573,000	予備費	58,000
繰越金	20,000		
雑収入	1,000		
収入合計	1,594,000	支出合計	1,594,000

平成9年度 社会福祉協議会決算

平成10年度第1回玉城町社会福祉協議会理事会・評議員会は平成10年6月10日に町保健福祉会館で開催されました。平成9年度玉城町社会福祉協議会事業報告や一般会計決算をはじめ、各特別会計決算等が審議され、次のとおり承認されました。

平成9年度 玉城町社会福祉協議会事業報告

社会福祉をめぐる情勢は大きく変化を遂げており、特に平成12年度に予定されている公的介護保険制度の発足は、本会の基幹事業にも大きな影響を及ぼそうとしています。

このような情勢の下で、平成9年6月に町保健福祉会館が完成し、ここに本会活動の拠点を移すと共に、デイサービス事業の新規着手やホームヘルパーの増員によるホームヘルプサービス事業の拡大など、公的介護保険制度の実施に向けた福祉サービスの供給体制作りを基本に事業の充実を図りました。

他方、心身障害者福祉など高齢者以外の住民の方々を対象にした福祉事業もバランス良く進めることにも留意しながら、事務・事業の合理化、効率化を図り、次のような事業を実施しました。

平成9年度デイサービス利用実績

月 別	開所日数	利 用 者 数	
		延利用者数	日当り
6月	21日	92人	4.4人
7月	22日	148人	6.7人
8月	21日	169人	8.0人
9月	20日	158人	7.9人
10月	22日	170人	7.7人
11月	18日	157人	8.7人
12月	20日	203人	10.2人
1月	19日	224人	11.8人
2月	19日	229人	12.1人
3月	22日	277人	12.6人
計	204日	1,827人	9.0人

平成10年3月末における
 デイサービス利用申込者数
 27人 男性
 53人 女性
 80人 計

1. デイサービス事業
 保健福祉会館のオープンと同時に、老人・身体障害者を対象にしたデイサービス事業を開始しました。開始当初の利用は低調でしたが、徐々にサービスの目的・内容を要介護者ご本人やそのご家族にご理解いただいて、3月26日には16名の利用実績を得るにいたしました。

2. ホームヘルパーサービス事業

保健福祉会館のオープンにあわせて常勤ヘルパーを3名増員し、5名で老人・身体障害者への訪問介護サービスを実施しています。デイサービスとの複合利用もあって利用者数は増加しつつあり、平成9年度の利用実績は、下記のとおりでした。なお、今後は登録ヘルパー制度を導入し、公的介護保険制度の実施時期までに早期に土・日、早朝・夜間を含めた在宅介護支援体制の充実を図ってまいります。

平成9年度ホームヘルパーの訪問状況

区分	訪問対象人員	実訪問時間
老人	44人	3,678.5時間
身体障害者	14人	1,044.5時間
計	58人	4,723.0時間

3. 授産施設運営事業

重度の障害児(者)と、比較的軽度ではあるが集団・共同での作業・生活になじまない障害児(者)の生活指導を主体にして施設運営しています。年度末の通所登録者は12名で、通所者数の増加と共に重度障害児(者)の全体に占める割合が高まってきています。介護と生活指導を充実するため常勤指導者2名と非常勤指導者2名の4名体制で施設を運営しています。「さおり織」や「むすび織」、各種ビーズ製品を主体とした仲間たちの作品に対する地域の方々の関心

4. はっぴいサークル事業

は一層高まりつつあり、「ふれあいの館」や「桜まつり」をはじめとした各種展示即売会場で一般の方々といれあう機会が仲間たちの意識高揚に大きく作用しています。また、地域ボランティアの方々の訪問・交流や各種交流会、学習会への参加は絶えず仲間たちに新鮮な刺激を与え、貴重な体験学習として着実な成果が現れています。

心身に障害を持つ青少年が心身ともに調和のとれた成人になるためには、学校教育以外にも日常生活を通じて、自主的、主体的な生活・活動体験を豊富に積み重ねることが大切です。学校週5日制を活用して、地域の異年齢集団を含めた仲間との交流を深め、豊富な活動体験の機会を確保するため、町内の心身に障害を持つ小・中学生とボランティア活動に積極的に参加してくれる小学生・高校生・大学生・地域の社会人が「はっぴいサークル」を結成し、年間7回の活動計画のもとに交流を深めました。回を重ねるごとに、障害児、保護者、ボランティアが皆で楽しく活動して本事業の目的を達成すると共に、ボランティア活動の大切さをより一層互いに認識することができました。

5. 心配ごと相談事業

ひろく地域住民の日常生活から生じるあらゆる問題の相談に応じ、適切な助言、援助を行うため、心配ごと相談所を開設しています。原則的

6. ことぶき人材センター事業

高齢のため現役をリタイアした方々などを対象に雇用契約以外の方法で何らかの就業機会を提供し、自己の労働能力を活用して追加的な収入を得ると共に自らの生きがい作りや社会参加をしていただくこと、ことぶき人材センター事業を実施しています。事業目的や比較的安価な作業受託料、迅速・親切・丁寧な作業が住民のみなさんのご理解を得ることができて、平成9年度は、年間104口、受託総額150万円、実績を上げることが出来ました。



ことぶき人材センター 作業の様子

7. その他の事業

①各種募金事業の推進

平成9年度における各種募金事業は、住民のみなさんの高い関心とご理解・ご協力を得て下記のような実績をあげることができ、何れも目標額を達成できました。

募金の種類	実施時期	募金額
日赤募金	5月	1,620,000円
共同募金	10月	1,500,000円
歳末たすけあい募金	12月	316,000円

②社協会員制度の啓発、推進

会員制度を発足して2年目になりますが、住民のみなさんや各団体・各企業の協力を得て順調に推移しています。

住民のみなさんに社協活動に対する関心をもつていただき、合わせて貴重な自主財源を確保するため、今後一層会員制度の普及・啓蒙に努力してまいります。

なお、平成9年度末の会員は次のとおりです。

また、会員区分は下記のように定めており、新規入会者は年間を通じて随時受付してあります。

会員区分	会員数	口数	会費
個人会員	331人	1,026口	307,900円
団体会員	26団体	75口	375,000円
賛助会員	9人	11口	110,000円
合計			792,900円

費は何れも年額)

- 個人会員(世帯単位の入会) 会費1口 3000円
- 団体会員(福祉施設及び団体、企業等) 会費1口 5000円
- 賛助会員(一定額以上の会費納入者) 会費1口 10,000円

団体名	組織人員	主な活動
玉城町虹の会	53名	独居老人への給食サービス (40食/月2回) 「夢工房たまき」の支援 町内美化運動(空き缶拾い) 各種心身障害児(者)支援活動 「ケアハイツ玉城」の支援
ボランティア玉城	24名	「ケアハイツ玉城」の支援 各種心身障害児(者)支援活動
お話しキャラバン	10名	絵本と紙芝居で地域交流を推進 各種心身障害児(者)支援活動
玉城たんぼぼ	34名	各種心身障害児(者)支援活動心のケア 視覚障害者へ「声の広報たまき」を配信 各種心身障害児(者)支援活動

③ボランティア団体の育成指導
平成8年度のボランティア教室受講者を中心にして結成された「玉城たんぼぼ」を含めた4グループで「玉城町ボランティア連絡協議会」を結成し、各グループの相互連絡と上部団体との連絡調整を図ってきました。
今後は特定非営利団体活動促進法(NPO法)についても積極的に調査・研究し、ボランティア団体の自発的な活動を側面から援助してまいります。
なお、各グループの主な活動内容は次のとおりです。

平成9年度玉城町社会福祉協議会一般会計決算

単位：円

収入		支出	
会費	792,900	事務費	3,395,641
配分金	1,145,200	事業費	18,571,200
委託金	404,000	受託事業費	61,672,589
補助金	79,081,800	諸支出金	640,771
助成金	330,000	繰出金	1,732,000
寄附金	929,198	予備費	0
雑収入	1,748,300		
繰越金	2,009,870		
収入合計	86,441,268	支出合計	86,012,201

収入支出差引残高429,067円は、平成10年度へ繰り越す決算としました。

平成9年度玉城町社会福祉協議会心配ごと相談特別会計決算

単位：円

収入		支出	
繰入金	272,000	運営費	306,373
繰越金	72,397	予備費	0
雑収入	77		
収入合計	344,474	支出合計	306,373

収入支出差引残高38,101円は、平成10年度へ繰り越す決算としました。

平成9年度玉城町社会福祉協議会ことぶき人材センター特別会計決算

単位：円

収入		支出	
繰入金	460,000	運営費	1,327,557
手数料収入	724,248	予備費	0
繰越金	371,124		
雑収入	3,215		
収入合計	1,558,587	支出合計	1,327,557

収入支出差引残高231,030円は、平成10年度へ繰り越す決算としました。



町社協役員一部改選のお知らせ

町社会福祉協議会役員の一部の方々が、本年 5 月末までに、その選出母体における役職異動などの都合によって退任され、その後任者が次のように選任されました。

(任期は、前任者の残任期間平成 10 年 12 月 24 日まで)

(敬称略)

役 職	前任者	後任者	選出母体 (役職)
理 事	丹羽 弥七 渡辺 桂子	神田 力 山下八重子	町老人クラブ連合会長 町婦人連絡協議会長
評議員	神田 力 東出 幸次	前川 嘉次 中北 利讀	町老人クラブ連合会副会長 "

民生児童委員功労者に晴れの表彰

県民生委員児童委員大会が平成 10 年 5 月 12 日、津市の県総合文化センターで開催され、その席上、功労のあった民生委員児童委員に表彰が行われました。玉城町では次の方々が表彰を受けられました。

(敬称略)

県民生委員児童委員協議会長表彰	森	典 子	(南新町)
"	岡 部	一 夫	(新田町)
"	田 中	ま さ	(栄 町)
"	見 並	和 子	(魚 町)

みなさんおめでとうございます。

毎年、多くのみなさんから「桜まつりチャリティーバザー」へのご出品、誠にありがとうございます。今年は 4 月 12 日 (日) に「桜まつり」が開催され、みなさんからお寄せいただきました拠出品は、福祉団体の方々のご奉仕による値付け・販売の上、売上の全額を社会福祉資金として町社会福祉協議会にご入金いただきました。

今回の「桜まつりチャリティーバザー」売上額は、245,066 円でした。

ご協力誠にありがとうございました。

第 11 回桜まつり

「チャリティーバザー」 出品ご協力のお礼

あとかぎ

サッカー W 杯、全国高等学校野球大会などたった一球の白球が全国の何百、何千万のファンを沸かせてくれた夏、みんなが感動し励まされいい思い出をつくれたことと思います。

さて、社協では今回社協だより第 5 号をお届けいたします。

本号では平成 10 年度予算をはじめ平成 9 年度決算、各種事業実績を中心にお知らせしております。

なお、受託しておりますデイサービス、ホームヘルプサービス等申し込みをなされる方も月々増加しており、お世話させていただく係員もやがていを感じつつも反面、ご健康を祈らずにはいられません。

まだまだ暑い日が続きますが、お体には充分ご留意なされ毎日をお元気にお過ごし下さい。